

第3回調整部会が出された主な意見と修正内容について

No	章	項目	意見概要	修正内容	該当箇所
1	第1 基本構想策定の背景	区を取り巻く環境変化と対応	・③にあるSDGsの記載は、Sustainable Development of Goalsの「of」は、不要ではないか。	・意見どおり修正	P2 35行目
2	第1 基本構想策定の背景	区を取り巻く環境変化と対応	・協働の推進の箇所に、町会・自治会単位や商店街単位での取組をさらに促進していくという観点から、地域自治を推進するといった言葉があっても良いのではないか。	・見出しの箇所を「（共に課題解決に取り組む自治・協働の推進）」に修正	P3 32行目
3	第1 基本構想策定の背景	区を取り巻く環境変化と対応	・「デジタル化」のくだりでは、住民の利益と効率性が両立するという視点から、効率性の前に、利便性という表現を入れていただくのが良いのではないか。	・効率的かつ効果的な区政運営の実現の前に、「行政サービスの質の向上」の記載を追記	P4 6行目
4	第2 基本構想を貫く3つの基本的理念	安全・安心のまち つながりで築く 次世代をはぐくみ 引き継ぐ	・二つ目の丸と三つ目の丸で、「つながり」が2回出てくるので、別の表現があるのではないか。	・三つ目の丸の箇所を「次世代をはぐくみ 引き継ぐ」に修正	P5 16行目
5	第2 基本構想を貫く3つの基本的理念	安全・安心のまち つながりで築く	・説明文にある、このまちに関わる「当事者」の箇所は、「主体」という表現のほうが良いのではないか。	・意見どおり修正	P5 14行目
6	第2 基本構想を貫く3つの基本的理念	次世代をはぐくみ 引き継ぐ	・説明文にある、杉並の次代を担う子どもを「地域全体で」の箇所は、「地域社会全体で」としたほうが、一つ目の丸の文中の表現とも合って良いのではないか。	・意見どおり修正	P5 17行目

No	章	項目	意見概要	修正内容	該当箇所
7	第3 杉並区が目指すまちの姿	同左	<ul style="list-style-type: none"> 資料15は「将来像の一覧」となっているが、実際には、キャッチフレーズ的な内容が多いと見受けられる。現行の構成は、第2章に「将来像」、第3章に「理念」があり、第4章にまたまちの姿、つまり、まちの将来像が出てくる。第2章の「将来像」の部分には、基本構想を一言で表すとどうなるか、というキャッチフレーズ的なものを置くこととして、第3章に理念、第4章に目指すべき将来像があるという整理が良いのではないか。 資料13のP5はキャッチフレーズとなっており、P7が将来像となっている。将来像という言葉を使うなら、P7の将来像の全体を表すならというほうが良いのではないか。他の区では、どう表現されているのか。 時間があれば、子どもたちからアイデアを募集しても良いのではないか。また、教育委員会で既に子どもの声をひろっているのでは、聞いてみるはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 構成を、第2章に「基本構想を貫く3つの基本的理念」、第3章に「杉並区が目指すまちの姿」、第4章に「分野ごとの将来像と取組の方向性」に変更。 第1章の基本構想策定の背景に記載していた「⑦区民の力こそが原動力」は、第3章に移行。 第3章の杉並区が目指すまちの姿については、先般実施した中学生アンケートの結果等を参考に、3案を作成。 	P6 全体
8	第4 分野ごとの将来像と取組の方向性	全体	<ul style="list-style-type: none"> P7のまちの姿のうち、上の3つ（防災・防犯～環境・みどり）は将来の「都市像」、それ以降（健康・医療～文化・スポーツ）は将来の「生活像」となっており、まちの将来像と重複する。 この目指すべきまちの姿について、あまり議論がされていないので、文言などもっと練る必要があるのではないか。 今後の旗印となるP7の一つ一つの目指すべきまちの姿の表現や文章、キーワードは、もう一度推敲する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 分野の「学び」を除き、各分野の将来像を再整理 	P7 全体
9	第4 分野ごとの将来像と取組の方向性	全体	<ul style="list-style-type: none"> 取組の方向性の表現の仕方について統一が必要ではないか。まちを築く、まちをつくる、まちづくりを進める、などでそれぞれで違いはあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現方法は、内容により、まちをつくる、まちづくりを進めるに使い分け 	P8ほか
10	第4 分野ごとの将来像と取組の方向性	防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> 取組の方向性の（1）の箇所に、事前復興の考え方を明確にするという観点で「日常時から」や「平時から」といった言葉を添えて、倒れにくく燃えにくいまちづくり、風水害に強いまちづくりを進める、としたほうが良いのではないか。また、「非常時」に発災しても復興・再建しやすいまちを築くとの記載にすれば、平時と非常時の関連がよりわかりやすくなり、重点的な取組の一つ目のハードの視点と、二つ目のソフトの視点にうまくつながっていくのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 取組の方向性の（1）の、倒れにくく燃えにくいまちづくりの前に、「平時から」の記載を追記 	P8 8行目
11	第4 分野ごとの将来像と取組の方向性	防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> 重点的な取組の一つ目の箇所に、首都直下地震対策として杉並らしい火災対策を入れてみるはどうか。不燃化や、木造住宅密集地域の解消など、都の政策・事業名が羅列されている印象がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 重点的な取組内容を精査し、記載内容を修正 	P9 3行目

No	章	項目	意見概要	修正内容	該当箇所
12	第4 分野ごとの将来像と取組の方向性	まちづくり・地域産業	<p>・取組の方向性の(1)にある、多心型まちづくりについて、具体的なイメージがわかりやすいように、駅数に言及はできるか。向こう10年のスパンで考えると、それぞれが地区の特性を生かし、役割や特長も異なり、同じような駅前とはならないのではないか。</p> <p>重点的な取組の一つ目に、もう一步踏み込んで、「荻窪駅周辺などを含む、〇〇駅、〇〇駅の駅周辺では～」としたほうが、もう少しイメージしやすくなるのではないか。</p>	<p>・取組の方向性(1)の欄に、具体的な駅数を追記するとともに、重点的な取組の記載内容を修正</p>	<p>P10 9行目 ・ P11 3行目</p>
13	第4 分野ごとの将来像と取組の方向性	環境・みどり	<p>・取組の方向性の(1)にある「気候危機のリスク」という箇所について「危機」と「リスク」は厳密には異なるが、同類の概念なので、整理が必要か。</p> <p>例えば、目指すべきまちの姿の「気候危機に立ち向かい」との表現を生かし、「気候危機に立ち向かうために、気候変動対策を推進する」といった表現ではどうか。</p>	<p>・取組の方向性(1)について、「気候危機に立ち向かうため、気候変動対策を推進する」に修正</p>	<p>P12 9行目</p>
14	第4 分野ごとの将来像と取組の方向性	環境・みどり	<p>・杉並区の環境・みどりの特長として、東京を代表する中小河川の全部が杉並区を流れている。特に、善福寺川と妙正寺川は水源も持っている。</p> <p>中小河川の存在は、杉並区の「売り」の一つでもあるので、重点的な取組の中に、誰もが歩ける水辺をつくる、といった内容があっても良いのではないか。</p>	<p>・重点的取組(3)の箇所に、水辺環境の保全・創出の記載を追記</p>	<p>P13 9行目</p>
15	第4 分野ごとの将来像と取組の方向性	環境・みどり	<p>・都市農地の記載については、P12の取組の方向性(3)だけでなく、重点的な取組にも記載していても良いのではないか。</p> <p>杉並区が、必置ではない農業委員会を設置していることは、対外的に農地を守っていくという姿勢を示しており、区の特徴の一つと思われる。</p> <p>具体的に、農福連携農園は全国的にも良いモデル例であり、杉並のような住宅地でそのような取組を推進していく姿勢を示していくことが必要ではないか。</p> <p>・東京でも残したい農の風景がきちんとあることは全国的に代表例としてあがっているため、そういうものをさらに促進、拡張していく意味合いを込めて、農の風景や農の景観を残す、という趣旨を入れていても良いのではないか。</p>	<p>・重点的取組に、「(4)持続可能な農地の保全」の項目を立てをし、農福連携農園や農の風景・景観の保全等の取組を追記</p>	<p>P13 12行目</p>
16	第4 分野ごとの将来像と取組の方向性	健康・医療	<p>・取組の方向性の(3)に、非常時にも迅速に対応できる地域医療体制をつくるとあるが、説明文にも、「非常時にも…」と記載されている。非常時ということをもっと強調したいのか。表題は非常時を入れずに、「迅速に対応できる地域医療体制をつくる」と整理してみはどうか。</p>	<p>・災害時等へスピード感を持って対応していく姿勢を見せることとし、修正なし</p>	<p>P14 20行目</p>

No	章	項目	意見概要	修正内容	該当箇所
17	第4 分野ごとの将来像と取組の方向性	福祉・地域共生	<ul style="list-style-type: none"> ・目指すべきまちの姿などにある、「支え・支えられながら」は、支えー支えられる関係の循環の中で地域共生社会ができるという観点かと考えられる。表現としては、「支え合いと参加で」や、「つながりと支え合いで」などに修正したほうが良いのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉・地域共生分野の取組の方向性や重点的な取組の記載内容の全体のバランスを考慮し、修正なし 	P 15、16 全体
18	第4 分野ごとの将来像と取組の方向性	福祉・地域共生	<ul style="list-style-type: none"> ・取組の方向性の（2）の二つ目の丸の箇所について、ヤングケアラーの問題が抜け落ちているのではないかと。P 18（子ども分野）の取組の方向性（1）の二つ目の丸の箇所にどうつながっていくか、工夫が必要ではないかと。 ケアラーと言っても、ヤングからオールドまでいるので、「ヤングケアラー」という言葉を出し出す必要まではないが、「孤立したり、追いつめられたり」の後に、「将来の選択肢を奪われたりすることなく」と言葉を補ってはいかがいかと。 ・ヤングケアラーについて、福祉の中でも、基盤をつくる、意識を醸成する、制度的な仕組みをつくる、地域の中で支えることといったことを強調していくことが必要ではないかと。 声なき声をきちんと受け止める社会や、苦しみを分かち合う、将来の選択肢を奪わない社会などの言葉を付け加えていくことが必要ではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアラーの問題について、取組の方向性の（2）から（3）に移行するとともに、「将来の選択肢を奪われたりすることがない」との記載を追記 	P 16 22行目
19	第4 分野ごとの将来像と取組の方向性	福祉・地域共生	<ul style="list-style-type: none"> ・取組の方向性の（2）について、自分らしく歳を重ねるという表現で終わっているが、他の取組の方向性に合わせて、自分らしく歳を重ねる「ことができるまちをつくる」などといった言葉を付け加えてはどうか。 ・取組の方向性の（2）は、「地域に多様な福祉基盤が整い、自分らしく歳を重ねることができるまちをつくる」というような記載で良いのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取組の方向性（2）について、「地域に多様な福祉基盤が整い、自分らしく歳を重ねることができるまちをつくる」に修正 	P 16 14行目
20	第4 分野ごとの将来像と取組の方向性	子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・取組の方向性の（1）の一つ目の丸の箇所に、子どもたちが意見を言うことに加えて、子どもたちの意見を聞くことができる社会や地域をつくることを書き足していただきたい。子どもの権利条約などにある意見表明権は、意見を言うだけでなく、意見を言えない子どもたちの声を聞くことが求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが意見を言うことできるの後に、「意見を受け止められる」の記載を追記 	P 18 8行目

No	章	項目	意見概要	修正内容	該当箇所
21	第4 分野ごとの将来像と取組の方向性	子ども	<ul style="list-style-type: none"> 重点的な取組の一つ目の「児童相談体制の強化により」という記載は具体的には何を意味しているのかわかりにくい。23区の中でも児童相談所の設置について意見が分かれているので、杉並区の立場を明確にしていくのが良いのではないか。 また、児童相談体制の強化が核となるので「支援を必要とする子供や家庭に対する取組を進め、児童相談体制を強化する」という文脈のほうが良いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 重点的な取組の一つ目について、「子どもの命と権利を守る児童相談体制の強化」に修正するとともに、記載内容も修正 	P19 8行目
22	第4 分野ごとの将来像と取組の方向性	学び	<ul style="list-style-type: none"> 重点的な取組の二つ目の箇所は、学校施設だけでなく、学校施設・社会教育施設という記載のほうが良いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 意見どおり修正 	P21 5、6行目
23	第4 分野ごとの将来像と取組の方向性	文化・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> 取組の方向性の(2)及び重点的な取組の二つ目に歴史的文化資産とあるが、人々の生活に積み重ねられている「暗黙知」の領域の内容が、将来に残しづらいという意見がある。方法論として「区民生活史」といった視点で、例えば区史の編纂の際に、口述記録やオーラルヒストリーの収集を通して、次の世代に守り伝えるということも大事ではないか。 杉並が有する歴史(例えば、相撲部屋が多かった等)を踏まえ、区民が誇りに思える地域の歴史的な文化やスポーツといった視点があっても良いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 重点的な取組の二つ目の記載内容について、「歴史ある地域の文化資産や伝統文化を守り伝える取組を進めるとともに」に修正 	P24 6行目
24	第5 区政経営の基本姿勢	デジタルにより誰もが暮らしやすい社会に	<ul style="list-style-type: none"> (1)の二つ目の丸の箇所は、利便性だけでなく、効率性という観点の両面から記載していただくのが良いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 利便性の高い行政サービスを提供の前に、「効率的」の記載を追記 	P24 26行目